

番号④

活動活性化

## 町会・自治会活動 好事例

**「楽しさ」から始まる地域共生への再挑戦！**  
**多世代が主体的に関わる「佐藤町会文化祭**  
**&リバーサイドフチマルシェ」**  
**から学ぶ！！**

佐藤町会 青年部長(ジモティーコネクション)  
厚川俊明

2026年5月28日

町会名：佐藤町会(加入世帯数：553世帯 加入率30%以下)

テーマ：「楽しさ」から始まる地域共生への再挑戦！

多世代が主体的に関わる「佐藤町会文化祭&リバーサイドフチマルシェ」から学ぶ！！

## 1 取り組みの背景

### ○会員減少の危機

加入率が30%以下に低下。

「町会の居心地の悪さ」が課題となっていた。

### ○担い手不足

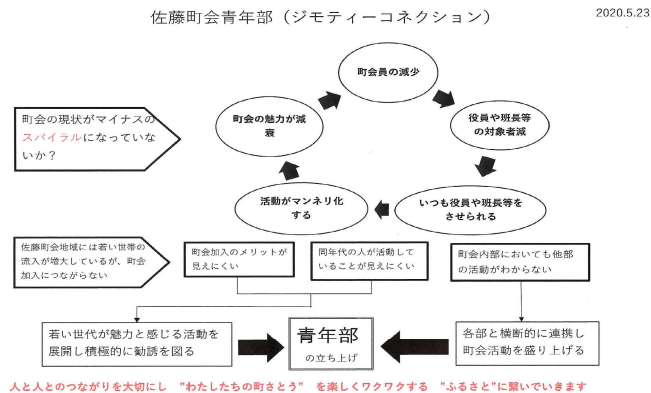
中心メンバーの脱退により、従来の活動継続が困難な状況にあった。

### ○目的の再定義

「そもそも町会は何のためにあるのか？」という

原点に立ち返し、AI時代だからこそ必要な

「リアルなつながり」の再構築を模索した。



### 佐藤町会青年部発足にあたってのご挨拶

今回、佐藤町会青年部を総会で事業部としてご賛同いただきありがとうございました。この度、青年部長を引き受けることになりました1班Aの厚川俊明です。佐藤町会存続の未来像に危機感を感じ、まずは、若い世代への地域のプラトホームづくりとして佐藤町会青年部を立ち上げました。目指すのは、人と人とのつながりを大切に「わたしたちの町さとう」を楽しくワクワクする「ふるさと」に繋いでいきたいと考えております。今回の新型コロナウイルス等の対策をしてZoomミーティングによるコミュニケーション企画も準備しております。詳しくは、佐藤町会青年部告知版をご覧ください。 (青年部長 厚川俊明)

### 第1回佐藤町会青年部告知版

第1回佐藤町会青年部(仮称：ジモティーコネクション、通称：ジモコネ)の初顔合わせ Zoom オンラインミーティング(おつまみ、お酒セルフサービス、出入り自由)を行います。 ■参加条件：50歳以下の男女(自称でもOK、大体です)詳しくは、厚川薬局(048-229-2293)、斎藤宣一(総務部長) 実食研仁(総務副部長)、名倉正浩(防災部長)ご連絡ください。グループLINEに登録をしていただき、そでご案内申し上げます。



(青年部長 厚川俊明)

▲ジモティーコネクション Zoom ミーティングの様子

## 2 取り組みの具体的な内容

コミュニティマネジメントの知見(CRファクトリーの好循環モデル等)を取り入れ、単なる行事の実施ではなく「組織のあり方」から改革を行いました。

### ○ビジョン・コンセプトの明確化

#### <ビジョン>

佐藤町会を綾瀬川とさくら並木に囲まれた自然豊かな場所で誰もがいきいきと楽しく過ごせる「ふるさと」にする。

#### <コンセプト>

1. 楽しい地域活動を実現
2. 家族、仕事、趣味を大切にした地域活動
3. 無理のない継続可能な仕組み作り
4. 薄れた地域のつながいを再構築
5. 関係人口の拡大

### ○『コスト⇒報酬⇒愛着UP』の好循環モデル

コスト(時間・汗・苦勞)

報酬(笑顔・感謝・心地良さ)

愛着UP(町会が好きになる)

特に「褒める、ねぎらう、感謝する」の文化を徹底。

### ○伴走型の担い手育成

新しいメンバーに対し、自己理解と相互理解を深めるプロセスを導入し、孤立させない支援を実施。

### ○規模の適正化

無理に以前と同じ規模を目指すのではなく、今のメンバーで「熱量」を維持できるサイズに縮小しつつ、質を高める工夫(フキマルシエの併設等)を実施。

### 3 取り組み後の効果

#### ○地域の一体感

ミニコンサートや大抽選会を通じて、  
世代を超えた参加者が一つになり、会  
場全体に圧倒的な熱量が生まれた。

#### ○住民の主体性の向上

「やらされ仕事」ではなく、メンバーから「やって  
みたい」という自発的なアクションが垣間見えるよ  
うになった。



# テイクホーム・メッセージ

## ジモティー コネクション

- 「人」と「関係性」の再構築
- 理念とビジョンを語り続ける
- 自己理解 ↔ 相互理解
- 1人より2人
- 小さく、小さく、無理をしない
- 学び ↔ 実践
- 自治会は“古い組織”ではなく、人と人との関係性を再構築する“地域のプラットフォーム”だと思っています。